むすびめ通信

Musubime works for the better society

エペソ 4:16

湯本沙友里 ニュースレター

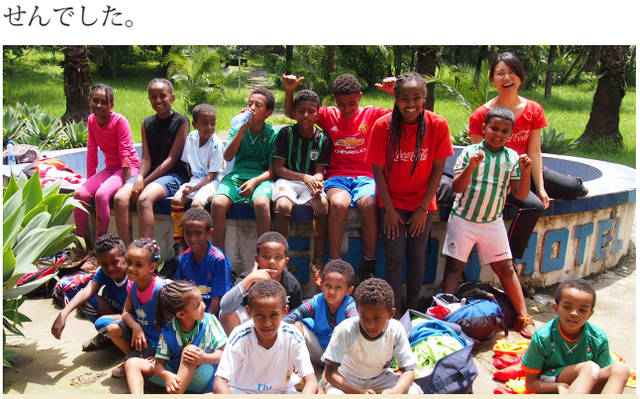
Vol.006 2018年 11月号

10月に帰国し、名古屋を拠点に活動中。
エチオピアでも新たな取組みがスタートしました。

皆さまの暖かいご支援に心より感謝いたします。
6月から約4か月間のエチオピア滞在を経て、10月2日に帰国しました。
帰国後は北海道釧路市と登別市にて世界食料デーや関連行事にて、現地報告の機会を与えて頂き、10月末に名古屋へ戻りました。

詳細は後述しますが、今回の訪問では計画していた「接客サービストレーニング」の取組みを開始することができ、次へ繋がる現場の反応を得る事ができました。滞在中に1度は、この通信を発行して状況をお知らせしたいと思っていたのですが、開始したプロジェクトと同時進行中のウェブ制作事業で時間と気持ちの余裕を持つことができず、そこまで至らなかったことをお詫び申し上げます。

3度目の滞在であっても、日本とは異なる状況や文化、習慣、激動する都市部の環境では普通の生活を整えることの大変さがあり、仕事を生みだしていくことは容易ではないとつくづく思わされました。しかし、状況や関係に消耗して力の限界を感じて立ち上がるのが嫌と思ってしまうことも起こる中で、あとひと踏ん張りする力を得ることができたのは、日本で支え励まし、時に具体的なアドバイスをもって示唆を与えてくださる皆さんがいたからに他なりませんでした。



友人の運営するスポーツクラブに立ち寄った際。通っていたこどもたちと

昨年日本で大学院を卒業した友人。
家庭の食事に招いてくれたり相談に乗ってくれます。

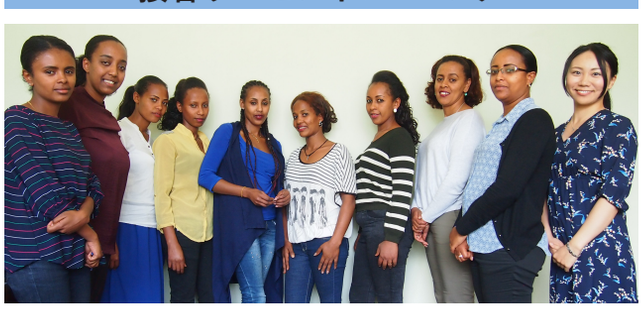
夏休みを利用して、教会の姉妹が遥々エチオピアまで訪問してくれました。忙しさの中で覚えてくれていた優しさと行動に感激しました。偶然同じ旅程だったゲストも一緒にコーヒー発祥の地の農園などを訪問しました。

よく大会後のスポーツ選手が会見などで発する「皆さんの応援が力になりました」「この結果は支えてくださったみなさんのおかげです」といったコメントを耳にすると、「その人自身の努力の結晶でしょう？」と思ってしまっていた私でしたが(笑)、そこに込められている想いの深さが今は分かります。立場は違ったとしても、人が社会で努力して新たな挑戦や状況の変化の中で踏ん張ることができるのは、本人が無自覚であっても、周りで思いを寄せてくれている誰かの存在や支えがあるからこそだと思わされます。私自身が多くの方々に支えられているように、まだまだ未熟である私も、誰かにとってのそのような存在でありたいと願わされました。

エチオピアの人々と一緒に始まったこの取組が、努力することや自らの可能性を信じて発揮させること、自立していくことが難しい状況にある人々にとって、あと一歩踏み出そうと思えるような、それとなく目の前に置いてあるような「踏み台」になってほしいと願っています。

まだまだこれからですが、この働きをご理解くださっている皆さんに改めて感謝申し上げます。

新しいプロジェクトがついにスタート！
接客サービストレーニング



エチオピアの民間企業の成長を人材育成の面から支えているコンサルティング会社(代表レマ氏)と協働して、カフェやレストランなどで働く接客従業員を育成する「接客サービストレーニング」を開始しました。

急激な経済成長を遂げるエチオピアでは、格差が広がり貧しく経歴のない人々が働ける機会が少ない現状があり、目先の利益を生みにくい「人格の成長」は蔑ろにされてしまいがちです。カフェ文化のあるエチオピアには沢山の飲食店がありますが、従業員態度が悪いことによる不満の声を良く耳にします。私たちはこのトレーニングを通して、接客人材のスキル向上に取り組むことで、地元企業の事業拡大に貢献し、働く人たちや社会全体を元気にしていくことを目指しています。働く場が社会に増えていくことで、働きたい人たちにとっての良いチャンスになっていくこと(支援依存からの脱却)、良い仕事から生活の糧を得て家族も養っていけるようになること(売春やストリートチルドレンの減少)が願いです。

トレーニングの様子。受講生たちとのワークショップでは一緒に考えて、発見をしてもらうことを大切にしています。

持続可能な形を目指すため支援ではなく、トレーニングを依頼する企業は費用の支払いが発生します。第一回目はコーヒー豆の生産、輸出事業を行う企業が運営するカフェの従業員向けにトレーニングを行うことができました。

カフェの店内

トレーニングは受講するだけで終わりにならないよう、企業の成果に繋げるための各種現場調査から始めました。受講内容は答えを教えるのではなく想像力と創造力を発揮してもらえるようワークショップを中心にロールプレイなども盛り込みました。座学の後は数日にわたる実施訓練を行い、学んだことを振り返りながら現場に活かしてもらいます。受講者同士が意欲的に自ら学び続けられるように、それまで行われていなかった定例ミーティングを提案し、目標を達成した受講者には修了証書を発行します。(エチオピアではこの証明書がとても有効に働きます!)
その後の経過も継続して調査することで前後の比較をし、問題点を洗い出して改善策を提案実施するという流れです。現場責任者からも今後も継続したいという反応を頂き感謝でした。新たな学びと発見の連続の中で良い形を探りながら、エチオピアの方々と一緒にこの取組を創り上げていきたいと願っています。

次号では、「声なき者の友」の輪(FVI)と登別市と一緒に関わりを持っているエチオピアの小学校の取組みやその他の現地での関り、
日本帰国後の活動などをご報告します。

ご案内

■SNS配信中

YouTube動画もあるよ!
「むすびめワークス」で検索

最近は**Instagram**がメインになってます。
フォローしてね♪

@sayu_mw / @musubimeworks

■「声なき者の友」の輪　ウェブサイト
http://karashi.net/
「共に喜ぶ世界」で検索

連絡先

湯本 沙友里 Sayuri Yumoto
Email : sayuri@karashi.net

支援のための募金・献金方法

働きのためのご支援をよろしくお願いいたします。
活動内容は、ニュースレターにて随時お知らせしますので配信ご希望の方は上記連絡先までご連絡ください。経済的支援をもってご協力くださる方はお手数ですが以下の口座にお振込みください。
ご支援を心より感謝いたします。

ゆうちょ振替口座　口座番号:00180-0-300201
名義:FVI
★湯本支援は通信欄に「湯本指定」とご記入ください。

「湯本指定」の支援金は、派遣に関わる経費、活動費に充てられます。会計報告はFVIの年次報告をもって代えさせていただきます。過去の会計報告はFVIホームページよりご覧いただけます。